



2009 年 3 月 17 日

**BMW グループ 2008 年金利払前税引前利益（EBIT）は 9 億 2,100 万ユーロ
厳しい市況の中でグループ流動性を強化
乗用車部門のフリーキャッシュフローはほぼ均衡
事業効率は大幅に改善
金融・経済危機がグループ収益に大きく影響
普通株配当として 0.30 ユーロを提案**

ミュンヘン発：BMW グループの 2008 年実績は、厳しい市況の中でよく持ちこたえた形となりました。BMW AG のノルベルト・ライトホーファー取締役会会長は 3 月 12 日（木）、ミュンヘンで次のようにコメントしています。「BMW グループはきわめて厳しい経済情勢の中で事業の効率面において改善を果たすことができました。コスト構造をいちだんと最適化したほか、徹底したフリーキャッシュフロー管理により、磐石な財務基盤を整えました。」

ただ、2008 年 BMW グループ業績は、厳しい経済状況の影響をやはり免れることができず、残存価格リスク（中古車市場の低迷による）や不良債権（合わせて 19 億 6,800 万ユーロ）に対する追加のリスク対策費用、および一時的人件費 4 億 5,500 万ユーロの 2 件の特別支出だけで計 24 億 2,300 万ユーロの減益要因となっています。

これにより、BMW グループの金利払前税引前利益（EBIT）は前年比 78.1%減の 9 億 2,100 万ユーロとなりました（2007 年：42 億 1,200 万ユーロ）。税引前利益は同 90.9%減の 3 億 5,100 万ユーロ（2007 年：38 億 7,300 万ユーロ）、純利益は同 89.5%減の 3 億 3,000 万ユーロ（2007 年：31 億 3,400 万ユーロ）。グループ売上高は 5.0%減の 531 億 9,700 万ユーロと、比較的小幅な減少にとどまりました（2007 年：560 億 1,800 万ユーロ）。

2008 年度の調整済み売上高 EBIT 率は 6.3%

上述のリスク対策および人件費に伴う特別支出を除いて調整した EBIT は 33 億 4,400 万ユーロ、売上高 EBIT 率は 6.3%となります。なお、調整前の EBIT では売上高 EBIT 率は 1.7%です。

第 4 四半期に多額の特別費用を計上

上述の特別項目について 2008 年第 4 四半期に計上された費用は、合計 11 億 2,800 万ユーロ。このうちリスク対策費が 9 億 3,100 万ユーロ、一時的人件費が 1 億 9,700 万ユーロとなっています。これによ

り第4四半期の EBIT は 7 億 1,800 万ユーロの赤字となりました(2007 年同期は 13 億 800 万ユーロの黒字)。ただ、これらの特別項目を除くと、4 億 1,000 万ユーロの黒字となります。また、第4四半期の売上高は前年比 18.2%減の 127 億 7,200 万ユーロとなりました(2007 年: 156 億 600 万ユーロ)。

固定費は減少。原材料費のいっそうの削減を計画

BMWグループは2008年、事業の効率面で大きく進歩し、固定費が減少したほか、購買面でも大幅なコスト削減を達成しました。ライトホーファー会長は「BMW グループでは、Number ONE 戦略の下、2012 年までに原材料費を 40 億ユーロ削減する目標を掲げています」と述べています。

グループ流動性を強化

2008 年にはさらに、金融市場の混乱にもかかわらず、BMW グループの流動性がさらに強化されました。現金および有価証券保有額は前年比 86.3%増の 81 億 700 万ユーロ(2007 年: 43 億 5,200 万ユーロ)。乗用車部門の純有利子資産は 2007 年の 73 億 5,400 万ユーロから 90 億 4,600 万ユーロに増加しました。これにより 2009 年のスタートに当ってグループの財務基盤は磐石なものとなっています。

ライトホーファー会長は次のように述べています。「BMW グループでは、事業環境の悪化を予見し、需要低下に合わせた生産調整をただちに実施するなど、早期から迅速に対応することで、運転資本のいっそうの最適化を図りました。これにより在庫も減少しています。」2008 年のグループ乗用車部門フリーキャッシュフローは 8,100 万ユーロのマイナスと、ほぼ均衡を達成しました。

配当は収益実績に応じて

収益悪化を受けて、取締役会および監査役会では、2009 年 5 月 14 日に開催する年次株主総会において普通株 1 株当りの配当 0.30 ユーロ(2008 年: 1.06 ユーロ)、優先株 1 株当り 0.32 ユーロ(2008 年: 1.08 ユーロ)を提案することとしました。ライトホーファー会長は次のように述べています。「厳しい経済状況においても配当を支払うことで、経営体力に対する自信を示し株主の皆様のご期待にお答えします。」

乗用車部門 EBIT は 6 億 9,000 万ユーロに減少

2008 年の乗用車部門の EBIT は、残存価格リスクに対する対策および人員削減対策のために総額 13 億 6,300 万ユーロを支出したことで大きく圧縮され、前年の 34 億 5,000 万ユーロに比べて 80.0%減の 6 億 9,000 万ユーロとなりました。税引前利益は前年比 90.2%減の 3 億 1,800 万ユーロ(2007 年: 32 億 3,200 万ユーロ)。売上高は前年比 9.4%減の 487 億 8,200 万ユーロ(2007 年: 538 億 1,800 万ユーロ)となっています。また、上述の特別項目を除いて調整した EBIT は 20 億 5,300 万ユーロ、売上高 EBIT 率は 4.2%(2007 年: 6.4%)。なお、調整前の EBIT では売上高 EBIT 率は 1.4%となります。

2008 年のグループ販売台数は、厳しい事業環境の中で当然のことながら、昨年の過去最高記録には達しなかったものの、BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランドを合わせた総販売台数は前年比 4.3%減の 143 万 5,876 台となり(2007 年: 150 万 678 台)、2007 年実績に次いで創業以来 2 番目の記録となりました。

2008 年、自動車業界全体が大きな困難に直面した中でも、BMW グループは MINI およびロールス・ロイスの 2 ブランドで過去最高の販売台数を達成することができました。販売台数の前年比減が 4.3%と比較的軽微にとどまった主な要因の 1 つとして、燃費および CO₂ 排出量の削減を図る BMW グループの「エフィシエント・ダイナミクス」テクノロジーが挙げられます。BMW および MINI のニューモデルはすべてこのテクノロジーを採用しています。2008 年のエフィシエント・ダイナミクス搭載車の販売台数が、欧州だけでも約 83 万台に達しました。

ブランド別では、BMW ブランドの世界販売台数が前年比 5.8%減の 120 万 2,239 台(2007 年: 127 万 6,793 台)と、プレミアム・セグメントにおける競合メーカー実績を大きく上回りました。MINI は前年に引き続き前年比増となり、過去最高を記録しました。MINI の総販売台数は 23 万 2,425 台で、前年比 4.3%増となっています。

また、ロールス・ロイス・モーターカーズは 1,212 台(2007 年: 1,010 台)と前年比 20.0%の大幅な伸びとなりました。ロールス・ロイスの販売台数はこれにより 5 年連続の増加となり、ウルトラ・ラグジュアリー・セグメントにおける紛れもないトップブランドとしての地位を維持しました。

モーターサイクル部門の EBIT は 6,000 万ユーロ

モーターサイクル部門でも厳しい事業環境が収益に影響を及ぼし、EBIT は前年比 25.0%減の 6,000 万ユーロ(2007 年: 8,000 万ユーロ)、税引前利益は同 28.2%減の 5,100 万ユーロ(2007 年: 7,100 万ユーロ)、また、売上高は同 0.2%増の 12 億 3,000 万ユーロ(2007 年: 12 億 2,800 万ユーロ)でした。BMW モトラッドの 2008 年販売台数は前年比 0.8%減の 10 万 1,685 台(2007 年: 10 万 2,467 台)と、世界のモーターサイクル市場が低迷する中、前年の過去最高とほぼ同水準となりました。

金融危機の影響を受けたファイナンシャル・サービス部門の収益

ファイナンシャル・サービス部門の 2008 年収益は、残存価格リスクや不良債権に対するリスク対策費用 10 億 5,700 万ユーロを計上するなどの要因により大きな打撃を受け、税引前損益は 2 億 9,200 万ユーロの赤字となりました(2007 年: 7 億 4,300 万ユーロの黒字)。特別項目を除いて調整した税引前損益は 7 億 6,500 万ユーロの黒字、株主資本利益率は 19.1%(2007 年: 18.1%)となります。一方、売上高は前年比 12.8%増の 157 億 2,500 万ユーロ(2007 年: 139 億 4,000 万ユーロ)を記録しました。

新規自動車ローン契約総額は前年比 3.1%増の 293 億 4,100 万ユーロ。BMW および MINI 新車のローン全体にファイナンシャル・サービス部門によるローンが占める割合は 48.5%と、前年より 3.8 ポイント上昇しました。最大の要因はローン融資比率の上昇です。リース融資は前年とほぼ同水準で推移しました。

設備投資は前年を下回る

設備投資は前年比 1.5%減の 42 億 400 万ユーロとなりました(2007 年: 42 億 6,700 万ユーロ)。設備投資は主に、BMW 7 シリーズ、Z4、X1、MINI コンバーチブルといったニューモデルの生産開始にともなう製品投資とインフラストラクチャー投資です。有形固定資産や無形資産に対する設備投資は前年比 1.6%増の 29 億 8,000 万ユーロ(2007 年: 29 億 3,400 万ユーロ)。さらに、IFRS で資産とされる開発投資は、前年比 8.2%減の 12 億 2,400 万ユーロとなりました(2007 年: 13 億 3,300 万ユーロ)。これにより資本比率は前年(42.4%)とほぼ同じ 42.7%となっています。

従業員の削減

人員削減につきましては、すでにお知らせした人事関連措置や、事業部門の売却、それに退職や期間契約の終了などによるものです。2008 年末の全世界の従業員数は前年比 7.0%減の 10 万 41 人となっています(2007 年 12 月 31 日: 10 万 7,539 人)。12 月末までに自主退職合意書に署名した従業員は約 4,000 人。さらに、サークエント・グループを NTT データに売却したことを受けて、約 1,800 人分のポストが削減されました。なお、年末現在の研修生数は 4,102 人と昨年同様高いレベルにあります(2007 年 12 月 31 日: 4,281 人)。

* * *

BMW グループの 2008 年決算についての詳細は、3 月 18 日、ミュンヘンで開催する年次決算記者会見でお知らせいたします。

BMW グループでは財務報告情報の透明性をいっそう高めるべく、2008 年度の早い段階で IFRS 8 を採用(2009 年初めから義務付け)するとともに、グループ各部門に関するその他の情報も自主的に開示してきております。関連情報については、BMW グループ・ウェブサイト(www.bmwgroup.com/IR)の Investor Relations の部をご参照下さい。

		2008	2007	増減(%)
車両生産台数				
自動車		1,439,918	1,541,503	-6.6
内訳:				
BMW	台	1,203,482	1,302,774	-7.6
MINI	台	235,019	237,700	-1.1
ロールスロイス	台	1,417	1,029	37.7
モーターサイクル	台	104,220	104,396	-0.2
納車台数				
自動車		1,435,876	1,500,678	-4.3
内訳:				
BMW	台	1,202,239	1,276,793	-5.8
MINI	台	232,425	222,875	4.3
ロールスロイス	台	1,212	1,010	20.0
モーターサイクル	台	101,685	102,467	-0.8
期末従業員数¹				
		100,041	107,539	-7.0
売上高				
	百万ユーロ	53,197	56,018	-5.0
設備投資				
	百万ユーロ	4,204	4,267	-1.5
キャッシュフロー²				
	百万ユーロ	4,471	6,246	-28.4
金利払前税引前利益(EBIT)				
	百万ユーロ	921	4,212	-78.1
内訳:				
自動車	百万ユーロ	690	3,450	-80.0
モーターサイクル	百万ユーロ	60	80	-25.0
調整勘定	百万ユーロ	-216	717	-
税引前利益				
	百万ユーロ	351	3,873	-90.9
所得税				
	百万ユーロ	-21	-739	-
純利益				
	百万ユーロ	330	3,134	-89.5
1株当たり利益³				
	ユーロ	0.49/0.51	4.78/4.80	-
優先株1株当り				
	ユーロ	0.30/0.32	1.06/1.08	-

¹ 当該年度中に雇用契約が終了した従業員、定年退職を前にパートタイム勤務に移行した従業員などを除く。

² 自動車部門。

³ IAS 第33条に基づく普通株／優先株1株当たり利益。